

平成 29 年 5 月

## 魚津市定例記者会見



日時：平成 29 年 4 月 28 日（金） 午後 2 時 00 分～

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、読売新聞社、朝日新聞社、

NHK、KNB、BBT、NICE TV

市当局出席者：市長、副市長、教育長、企画総務部長、民生部長、産業建設部長  
企画政策課長

### 1. 市長からの発表事項

#### (1) 「第 68 回全国植樹祭」を開催（5/28）

- ・全国植樹祭サテライト会場紹介（5/28）
- ・魚津花とみどりの少年団 清流小学校入団式（5/18）
- ・全国植樹祭関連イベント 富山県内一斉清掃「キックオフセレモニー」（5/6）

全国植樹祭の式典会場である桃山運動公園には 7,500 名の限られた方しか入場できないため、より多くの市民が植樹祭の雰囲気を楽しむことができるように「海の駅 蜃気楼」に全国植樹祭サテライト会場を設ける。サテライト会場では、大型モニターで式典会場からの生中継のほか、「魚津の朝市」の同時開催や「苗木の無料配布」など様々なイベントを行い、植樹祭を盛りあげていく。

また、その他の植樹祭の関連イベントとして、「魚津花とみどりの少年団」の「清流小学校入団式」や、富山県内一斉清掃の「キックオフセレモニー」なども行われる。

（説明内容は別添プレスリリースのとおり）

#### (2) 「第 26 回戦国のろし祭り」「よっしゃ来い!!CHOUROKU まつり」が同時開催（5/21）

毎年 5 月に開催されている「戦国のろし祭り」と「よっしゃ来い!!CHOUROKU まつり」が、今年は、5 月 21 日に同時開催される。協力内容のひとつとして、両会場間を結ぶシャトルバスの運行を行う。また、出演団体の相互交流も行われる。両方のイベントについて、たくさんの方々に行き来をしていただけるように働きかけをしたい。

（説明内容は別添プレスリリースのとおり）

(3)魚津市シティプロモーション連携会議「キックオフミーティング」を開催(5/10)

今年度は、全国植樹祭など、いくつかの全国的な行事が魚津で行われる。そういった魚津の動きを、東京や大阪など県外の魚津ゆかりの方々に広く発信し、「魚津を訪れていただく」「魚津を応援していただく」きっかけとしていきたいと考えている。

その取組については、市や各種団体等と連携して行っていく必要があるために、「キックオフミーティング」と称して、連携会議を開催する。

(説明内容はプレスリリースのとおり)

(4)北陸職業能力開発大学の学生を対象とした奨学金制度を創設

魚津市での「ものづくり人材」の育成を促し、若年者の定住を促進することを目的として、北陸職業能力開発大学の学生を対象とした奨学金制度を創設する。

(説明内容はプレスリリースのとおり)

## 2. 教育委員会及び各部長からの説明事項

〈教育長〉

- ・第24回UOZUミラージュカップサッカー大会(県内外から24チーム参加)
- ・第47回北陸実業団陸上競技選手権大会兼ジュニアアスリート記録会
- ・第52回魚津市小学校体育大会(市内小学校5・6年生 685名参加予定)

〈企画総務部長〉

- ・市議会5月臨時会
- ・平成29年度第2回水の学び舎ツアー「森と海 自然の恵み巡る旅」
- ・山の駅もくもく野菜市

〈民生部長〉

- ・魚津市環境保健衛生協会 第33回定期総会(2名が会長表彰予定)
- ・クールビズ開始(前年度より1カ月前倒し 5/1～9/30)

〈産業建設部長〉

- ・ため池ハザードマップを作成

ため池ハザードマップは、ため池が決壊した場合に人家等に多大な影響を与える恐れがある等の防災重点ため池を対象に、浸水想定区域を示すことで、ため池が決壊した場合に地域にお住まいの皆さま等が自主的に迅速かつ安全に避難し、被害を最小限に抑える減災を目的として作成した。

(説明内容はプレスリリースのとおり)

### 3. 質疑応答の内容

#### 「第 68 回全国植樹祭」

##### 《記者からの質問》

天皇皇后両陛下の御来県について、市長のコメントをいただきたい。

##### 《回答》

天皇皇后両陛下の御来市は、2000 年国体以来 17 年振りとなる。前回は、国体のバレーボール競技をありそドームでご観覧になられた。今回は、全国植樹祭の式典会場である桃山運動公園に初めておいでになられる。

魚津市は、標高 2,400m 余りの山から水深 1,000m の海までが、25 km の距離に収まる。富山県自体も、3,000m の山と水深 1,000m の海が、50 km 内に収まるコンパクトな県であるが、特に魚津は、その「象徴的」な場所でないかと思っている。

是非、天皇皇后には、魚津の海や山の美しさをご覧いただきたい。また、17 年振りということで、市民の皆さんと、是非、触れ合っていたきたいと思っている。

私どもも、市民の皆さんと市全部を挙げて歓迎の準備を進めていきたい。

##### 《記者からの質問》

「象徴的」というのは、何の「象徴的」であるのか。

##### 《回答》

富山県自体も、3,000m の山と水深 1,000m の海が 50 km の距離に収まることによる自然の特徴から出てくる魅力をアピールしているが、魚津はより端的にそれを表している場所ではないかと思う。そのようなダイナミックな自然の特徴なり、そこから生み出されてくる、水の恵みや、食の素晴らしさなりを、是非ご覧いただいて、心にとめていただき、御歌を詠んでいただくことがあればと思う。

##### 《記者からの質問》

「なごかぜ」の体験乗船は、当初予算説明にあった「海上遊覧船事業」の一環であるのか。

##### 《回答》

別の事業である。予算時に説明のものは、料金を頂き、観光資源として使えるか調査するものである。今回のものは、伏木富山港湾事務所の港湾業務艇であり、料金をいただくことはできない。しかしながら、体験乗船によって、利用者がどのような感想を持ったかはお聞きし、今後の事業の参考にしていきたいとは考えている

##### 《記者からの質問》

サテライト会場での、無償配布の苗木は、どのようなものか、植樹祭の式典に関係したものか。

##### 《回答》

4 月に市役所前公園で苗木の無償配布したものは、植樹祭で皇后がお手植えされる予定の「マンサク」であった。サテライト会場で配布の苗木については、まだ詳細を検討しているところである。

### 《記者からの質問》

「戦国のろし祭り」と「よっしゃ来い!!CHOUROKU まつり」が、植樹祭の1週間前に同時に行われるが、植樹祭につながる思い等があれば伺いたい。

### 《回答》

全国植樹祭の開催と、今年のタテモン行事のユネスコの世界遺産登録の機会に、海と山の文化を結びつけて、自然体の取り組みとして盛り上げていくというムーブメントを生み出していきたいという話は、両団体に何度かしてきた。今回は、偶々日程上、同時開催になった面もあるが、山と街（海）を繋いでいくといったストーリーを作っていたのかなと思っている。是非、連携した取り組みをやっていければと思っている。

### 「産婦人科クリニック」

### 《記者からの質問》

4月の記者会見にあった「基本構想策定委員会」の開催日程とメンバーは決まったのか。

### 《回答》

まだ、「基本構想策定委員会」の初回は5月19日に行う予定である。メンバーは大体固まってきたところである。

### 《記者からの質問》

「産婦人科クリニック開設」は、市長の公約であったと思うが、1年準備をしてきたこの段階で、改めて所感を聞かせていただきたい。

### 《回答》

産婦人科クリニックについては、色々な人の話を聞いたり、産婦人科で特徴的な取り組みをしているところのことを勉強したりしていくなかで、単に生まれる場所が出来ればよいということではないと考えている。しっかりと、地域社会全体で、産み育てていくために、拠点となる産婦人科クリニックを作らなければいけないと考えている。

検討するメンバーにも、技術的・医療的にどうかだけでなく、「生まれる前、生まれて、そしてある程度育っていくまで」といったレンジで、どういったサポートなり関わりをしていけばいいかを、しっかり考えて、施設のコンセプトを固めていきたいと思っている。

## 「市職員の他市町村等への転職について」

### 《記者からの質問》

先般の市町村長会議で、森市長と石井知事の間で若干議論になった、市の職員が県や他市等に転職するという話のなかで、森市長のコメントで、魚津市と富山市の間でも過去にそういうことがあったようなこととおられたが、実際に、他市町村等に引き抜きのような形で転職したような事例があったのか。

### 《回答》

森市長と石井知事の話は、県への研修制度の延長として結果的としてそうなった事例があったということで、信頼関係をもっと大事にする必要があるのではないかとといった話であったと思う。森市長が言った魚津の職員の話は、研修制度等の関係ではなく、「家庭の事情」から、富山市の採用試験を受験した職員のことである。森市長から、魚津市職員が、富山市を受験しているが、魚津市長は知っているのかとの確認の電話はあった。「本人が職業の選択として受験されることで、こちらとしては駄目とは言えない」と答えた。昨年そのような事例があったが、それ以外にあったかは把握していない。

### 《記者からの質問》

自分の会社も含め、最近、若手の離職が増えている。先般、黒部市役所職員の有志が「働き方改革」として「職場の環境づくりに関する報告書」を提出するなどしている。市の職員の人材育成もなかなか大変であるのではないかと思い質問した。

### 《回答》

魚津市の採用試験でも、民間の企業に勤めている方が受験する場合もある。そのような場合は、面接の際、職場の上司や社長は知っているのかを、本人に直接確認はしている。